

水際対策3国追加 政府

南アフリカなどで見つかった新型コロナウイルスの新たな変異株をめぐり、日本政府は27日、水際対策を強化する対象にアフリカ南部のザンビア、マラウイ、モザンビークの3カ国を加

える、と発表した。入国の際、国指定宿泊施設での10日間の待機が必要となる。適用は28日午前0時から。同様の措置が27日に始まったのは南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア、レソ

ト、エスワティニ、ボツワナ。追加で、対象はアフリカ南部の計9カ国となる。日本は8日から、海外のビジネス関係者や留学生、技能実習生の新規入国を認

める制限緩和を行っている。岸田文雄首相は27日、記者団に、この9カ国についてはこうした制限緩和措置を「適用しないと決定している」と語った。(佐藤達弥)